



社会福祉法人 御前崎厚生会
特別養護老人ホーム 灯光園
電話 (0548)63-3729(代表)
FAX 63-4131
灯光園デイサービスセンター
63-6002
灯光園在宅介護支援センター
63-5116
灯光園居宅介護支援事業所
63-5115



夏に向かって

施設長 澤島久美子

気温が高くなり、夏が近いことを感じます。エアコンが活躍する時期ですね。

灯光園の生活は自宅の生活の再現をめざしています。お年寄りが自宅で生活していたように、自分らしく生活していただきたいと考えます。自宅にいた頃お年寄りはお部屋のお掃除をしていただいていたのかな？ご飯を作っていたのかな？など考えます。入居されてからのお年寄りしか知らない私たちは、ご本人と話をしたり、ご家族から様子を聞いたり、情報収集が大切です。

暑い時期、家でどんなふうに過ごしていたのでしょうか。エアコンがあったのかな？団扇で頑張っていたのかな？

たくさん食べて飲んで、たくさん睡眠をとって、今年も元気に夏を過ごしましょう。

ユニットケアの暮らし

1人ひとりに向き合う

相談員 松下 奈保

年を取ると物事を覚えにくく、忘れやすく年は取りたくないものと言われます。それでは質問です。「高齢期の認知症は老化現象で病気ではない」はい？いいえ？ 答えは「いいえ」です。認知症は老化に伴う脳の変化によっておこる病気です。

女性の平均寿命は87.14歳、男性は80.98歳と寿命は年々伸びています。認知症はがん、脳卒中、心臓病に打ち勝って長生きした人に残された道（死因）です。

繰り返しますが、認知症は特別な人に起る特別な出来事ではなく、歳をとれば誰にでも起こりうる、身近な病気です。認知症になることが不幸ではなく、認知症になって適切なケアが受けられないことが多くあり、不幸だと感じるので。灯光園に入居されている方々

にも認知症を患っている方が多くいます。60年前のことを昨日のこのように話してくれます。「えっ？ ウソー、今いくつ？」「・・・23歳。」と、当たり前の顔で返事が返ってきた。頭の中で記憶の帯が絡まって癒着したと思えばよいのです。愉快ではすまない時もあります。忘れることは仕方ないのですがこれが1分という間隔で同じことを繰り返し言われると、職員も「もう！」となります。ご本人は忘れていきますから初めてです。職員は、お年寄りに尊敬の気持ちを持ち、おらかな気持ちで丁寧に援助をしよう、難しいですが、笑顔の対応を心掛けています。

現在、灯光園は「ユニットケア」を実践しています。家での生活が難しくなり、老人ホームに入居することになって誰かが「今までの生活を続けたい。」と望むと思います。灯光園が大切にしていることは「介護が必要な状態になっても、ごく普通

の生活を営むこと」です。入居者の想いを大切にし、その人らしい暮らしの継続をサポートします。「暮らし」とは1日1日の生活の積み重ねです。その「1日」の生活の流れにケアの視点を置き、その方が1日をどう過ごしたいのかを知り、考え、必要な支援をします。

1日の生活の計画を作ります。「朝は7時に起き、まずは熱いお茶を1杯。お日様を見ながら飲む。」こんな計画です。この方は脳梗塞の後遺症があり歩けません。が何とか一人でお茶は飲めます。職員は7時に声を掛け、日の差し込む場所に座って頂きお茶を用意します。

24時間の生活について意向や思いを聞きます。食事の好き嫌い、食器のこだわり、洋服の趣味、お風呂の時間、シャンプーは、洗い方は、考え方のクセや大事にしていることなど、いろいろな事を聞いて生活を作っていきます。生活の主人公は入居者さんです。

小集団と専任の職員によるケアは家庭的で落ち着いています。馴染みの場所と馴染みの関係、今までの生活の継続で、認知症の方が落ち着いた生活が送れるようになりました。職員も一人ひとりの生活が把握できるようにになりました。そろそろだなど部屋におじゃましたり、ソワソワしている動きに声を掛けて対応します。「ユニットケア」という考え方の成果だと思えます。



「在宅生活の応援団」② デイサービスでできること 自立支援をめざして

灯光園デイサービスセンター
介護士 楠田 勝子

さわやかな過ごしやすい季節になりました。ご利用者様も「いい季節になったね、あんた。」「みんなと話ができて張り合いだ。ここへ来れるありがたい。」と笑顔で来所し会話しています。

もっと一人ひとりとじっくり関わりたい、自分のことは自分で出来るように支援をしていきたいという思いで、4月からデイサービスでの過ごし方を少し変えました。

一つは入浴です。一人ひとり個別にゆつくりと関わり、出来る動作は自分で行えるよう職員は待つ介護をします。午前みの入浴を午後も行うようにしました。急いで職員がやってしまった動作を見守ることでお本人ができる事を増やし、入浴時

の会話も増えてきたように思います。

次は午後の活動です。集団レクリエーションから8人程度の小集団の活動にしました。活動の前に転倒予防体操を行い、縫物が得意な方はマット作り、体を動かすのが好きな方は風船バレー、セラバンド体操、手作業が好きな方は壁画作り、お話が好きな方は回想法や歌の会等を行っています。意向に合わせて楽しく自ら進んで出来る事が目標です。

出来る事を一つひとつ増やして、毎日を生き生きと楽しく過ごせるようデイサービスを活用していただくことが私たちの願いです。



芒 種

24節気の第9。
芒(のぎ)のある穀物や
稲の麦などの種をまく季節。
田植えが始まります。



平成29年度苦情

5件の苦情がありました。皆さまからいただいた苦情をアドバイスと受け止めて今後に生かします。

- ①シヨートステイ利用者家族より。シヨートステイ中に発熱があったが報告がない。記録の書き方がおかしく職員の対応が不明であり、退所時に対応した職員の言葉遣いが悪い。
↓今後発熱があった時には速やかにご家族に連絡を入れること、職員間の申し送りを確実に、職員間の申し送りを確実に、帰宅時にご家族に連絡することを説明しました。職員の対応については謝罪して教育することを伝えました。
- ②シヨートステイ利用中に職員が頼んだことをやってくれない。職員の話し方がきつく辛い思いをした。
↓職員に施設長から注意し反省を促しました。利用者様には謝罪しました。
- ③特養入居者家族より。入居者が夜間に腹痛を訴えたが、対

応してくれないと電話が来た。なぜ対応ができないのか。
↓ご家族に謝罪し、申し送りを確実にすること、常備薬を用意することなど今後の対応について説明しました。

- ④特養入居者家族より。外出の予定で来園したが、体調が悪く出掛けられないことを、事前に問い合わせた時には職員は何も言わなかった。体調が悪いことについても連絡がなかった。自宅の鍵を紛失したこともその後、報告がない。居室の環境整備もできていない。
↓財布と鍵は再度探しても見つからなかったのでご家族に謝罪しました。今後も探します。エアコンは業者の清掃を行いました。洗面所の水道は修理しました。
- ⑤デイサービス利用中に排泄での失敗を職員に怒られた。
↓相談員がお宅に伺い、職員の態度について謝罪しました。利用者様への対応や言葉遣いについて研修を行います。

編集後記

梅雨に入りました。外で遊べない日が続き、我が家のやんちゃ盛りりの2人の息子は遊び足りない様子です。しかし雨の日に傘をさすのが楽しいようで…。雨の日にも楽しみを見つけられるなんてうらやましく思います。

ボランティア活動 ～ありがとう～

灯光園

○四月
大澤 成子様
増田 真佐子様
(花壇の手入れ)

灯光園デイサービス

○三月
川口 節子様 一回
(絵手紙)
清水 ソノ子様 十四回
(カラオケ支援)



○四月
川口 節子様 一回
(絵手紙)
清水 ソノ子様 十二回
(カラオケ支援)
松下 肇様 一回
(のこぎり演奏等)
やまぶきの会様 一回
(傘踊り等披露)